

どう生かされた?

このほか長い時間をかけて審査を行いました。
質疑の一部をお伝えします。

私たちの税金
どう使ったの?



Q 路線バス対策事業で実施している、永井バスの利用状況はどうか。

A 前橋公園から玉村町役場を通り新町駅まで行く路線を、前橋市と共同で（株）永井運輸に補助金を支出し運行している。利用者数は平成 25 年度は 10 万 6447 人だった。

Q 農業公社運営事業の補助金が、平成 25 年度（50 万円）より大幅に増加（648 万円）したが、その要因は。

A 平成 25 年度までは町職員が業務を行っていたが、平成 26 年度からは農業公社が直接職員を雇用して業務を行った。その分の人件費を補助金として支出したため増加した。

Q 経常収支比率が前年度から 3.1 ポイント上昇（悪化）し、96.8% となった要因は。

A 町税や地方交付税が減少し、道の駅玉村宿の建設や文化センター周辺地区の宅地造成事業特別会計への繰り出し等の経常経費に充てた一般財源が増加したため。

Q コミュニティ活動拠点整備事業として整備した「まちなか交流館スマイル」の活用状況はどうか。

A 交流館には、社会福祉協議会や放課後児童クラブ、ふれあいの居場所が整備され、子どもからお年寄りまで、幅広い世代の交流の場として有効に活用されている。



町民のくらしに

決算特別委員会

Q & A

細かくチェック
しました!



Q 障害者福祉センター「たんぼぼ」建設事業の補助金使用状況と今後の建設計画は。

A 障害者福祉センター「たんぼぼ」建て替えのための基本設計費用として、社会福祉協議会に補助金約 105 万円を支出した。今後は、国・県の補助金の状況を見ながら社会福祉協議会と協議していく。

Q 下水道の整備面積と事業認可面積はどのようになっているか。

A 平成 26 年度の整備面積は 24.28 ヘクタールで、これまでの累計面積は 624.97 ヘクタールとなった。玉村町は全域を下水道区域として整備を進めており、現在の事業認可面積は 831.74 ヘクタールである。事業認可区域内の宅地の部分では、約 9 割が着手済みである。

Q 中央小学校の大規模改造事業の設計委託料についての概要は。

A 中央小学校の校舎や体育館の大規模改造工事を実施するための実施設計委託業務を 13 社による指名競争入札により行った結果、請負金額を大幅に節約することができた。工事は平成 27 年度に実施する。

Q 高崎玉村スマートインターチェンジ周辺地区まちづくり事業で実施した調査結果の内容は。

A 工業系であれば 20 ヘクタール以上、商業や住居を考慮するのであれば、上位計画を変更し、かつ、最低でも 40 ヘクタール以上の市街化区域編入でなければ難しいだろうという結果になった。

Q 要支援 1・2 の認定者数と今後の介護サービス利用の状況はどうなるのか。

A 平成 26 年度は、要支援 1 が 193 人、要支援 2 が 180 人となった。これまでのサービスは当面の間は受けられるので、今後受け皿づくりの検討を進めていく。

